

日本薬学会 第135年会

# シンポジウムのお話

関連記事 3~5面

## 一般シンポジウム

### 薬学をビジネスエシックスの視点で考える

ガザ 川村 和美  
オナナ シンパヘルンケツファーマシー東日本

近年、医療界でも不祥事が後を絶たず、その信頼が失われかねない事態にある。そこで、本シンポジウムは企業としての責任 (Corporate social responsibility: CSR) や経営倫理の分野で活躍されている方々を招き、薬学に関連した各立派に於ける経営倫理的視点の生かし方を紹介した。

CSRとは企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える

影響 (責任) を持ち、あらゆるステークホルダー (利害関係者: 消費者、投資家等) および社会全体

を指す。企業を経営活動には利害関係者に対して説明責任があり、説明できなければ社会的容認が得られず、信頼されない企業は淘汰される。

こうした持続可能な社会を目指す経営倫理の視点

「ナノミセル型キャリアを用いたRNA分子のドラッグデリバリー技術」 「核酸医薬の開発に向けた有機合成化学的アプローチ」 「RNAをターゲットとする最新の薬学研究の課題から応用までを概観する。」 (秋光信佳)

「ナノミセル型キャリアを用いたRNA分子のドラッグデリバリー技術」 「核酸医薬の開発に向けた有機合成化学的アプローチ」 「RNAをターゲットとする最新の薬学研究の課題から応用までを概観する。」 (秋光信佳)

「RNA制御を基盤とした創薬研究の潮流」 Rナ分岐などの各転写後素過程 (RNA制御) は、遺伝子発現制御の中心的役割を果たしている。そのため、これらの素過程の異常に起因した多くの疾患が知られてお

り、RNA制御は薬学における重要な研究領域である。また、RNAは機能性高分子としても注目され、有機系薬学の分野でも活発に研究が進められている。

本シンポジウムでは、疾患と関連したRNA制御の分子構造を基にゴニストとアタゴニストの違いは明らかに完全アミノ酸と部分アミノ酸の作用メカニズムの違いも立体構造から理解できるようになってきた。

このような現状を踏まえ、立体構造と機能の関係を薬理的な観点から議論するシンポジウムを企画した。

発展着しい分野であることを鑑み、最新の成果をトップジャーナルに発表されているなど国際的に活躍されている若手若きシンポジウムとしてお招きし、創薬研究における新たな潮流を聴取にお届けしたいと思っております。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

体)からの要求に対して適切な意思決定をするのを指す。企業の経済活動には利害関係者に対して説明責任があり、説明できなければ社会的容認が得られず、信頼されない企業は淘汰される。

こうした持続可能な社会を目指す経営倫理の視点

「ナノミセル型キャリアを用いたRNA分子のドラッグデリバリー技術」 「核酸医薬の開発に向けた有機合成化学的アプローチ」 「RNAをターゲットとする最新の薬学研究の課題から応用までを概観する。」 (秋光信佳)

「ナノミセル型キャリアを用いたRNA分子のドラッグデリバリー技術」 「核酸医薬の開発に向けた有機合成化学的アプローチ」 「RNAをターゲットとする最新の薬学研究の課題から応用までを概観する。」 (秋光信佳)

「RNA制御を基盤とした創薬研究の潮流」 Rナ分岐などの各転写後素過程 (RNA制御) は、遺伝子発現制御の中心的役割を果たしている。そのため、これらの素過程の異常に起因した多くの疾患が知られてお

り、RNA制御は薬学における重要な研究領域である。また、RNAは機能性高分子としても注目され、有機系薬学の分野でも活発に研究が進められている。

本シンポジウムでは、疾患と関連したRNA制御の分子構造を基にゴニストとアタゴニストの違いは明らかに完全アミノ酸と部分アミノ酸の作用メカニズムの違いも立体構造から理解できるようになってきた。

このような現状を踏まえ、立体構造と機能の関係を薬理的な観点から議論するシンポジウムを企画した。

発展着しい分野であることを鑑み、最新の成果をトップジャーナルに発表されているなど国際的に活躍されている若手若きシンポジウムとしてお招きし、創薬研究における新たな潮流を聴取にお届けしたいと思っております。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

今やGPCRでは、受容体とトランスポーターの構造薬理学

近年、受容体やトランスポーターなど膜に埋め込まれたタンパク質の立体構造研究が激化になり、生理学的な機能やリガンドに対する薬理的な作用を立体構造に基づいて

議論することが可能になってきた。このような状況の中で、2012年にはGPCRの研究についてノーベル化学賞が授与されたことは記憶に新しい。

日本発の創薬イノベーション

「アカデミア創薬の推進」

ガザ 米田 悦啓  
オナナ 医薬基礎

日本の生命科学における創薬研究の成果が、社会に十分に還元されていないという認識がこれまで以上に広がりつつある。その中で、日本は優れた基礎研究の成果を創薬へと結びつける「いわゆるカブリ」創薬に期待がかかる。

このような状況下で、全国に埋蔵される薬理生命科学研究の優れた研究成果と有機的に連携し、社会的に大きな変化をもたらす「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

ガザ 米田 悦啓  
オナナ 医薬基礎

日本の生命科学における創薬研究の成果が、社会に十分に還元されていないという認識がこれまで以上に広がりつつある。その中で、日本は優れた基礎研究の成果を創薬へと結びつける「いわゆるカブリ」創薬に期待がかかる。

このような状況下で、全国に埋蔵される薬理生命科学研究の優れた研究成果と有機的に連携し、社会的に大きな変化をもたらす「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築

「創薬イノベーション」を實現するためのオルシヤン体制の構築